

! [ロ ゴ : 25.0x16.3] (md8docx.png)

MAKDO（魔苦怒）

公用文書（司法文書、行政文書など）を
Markdown のソースから作成するための
MS Word 互換アプリ

マニュアル v01

目次

- 1 お前誰だよ
- 2 開発の動機
- 3 アプリの概要
- 4 マニュアル (Markdown → MS Word)
- 5 最後に

第1 お前誰だよ

- 1 秦 誠一郎（はた せいいちろう）
- 2 弁護士（広島弁護士会、国政法律事務所）
- 3 仕事はLinux（Ubuntu）
 - (1) 大学・大学院では、NeXT、SPARC、Solaris
 - (2) 学生時代、Windows が買えず、PC-UNIX（無料）
 - (3) パソコンは基本的にコマンドライン（Zsh）で操作
 - (4) 文書の作成は Emacs、日本語変換は FreeWnn

![弁護士バッジ](badge_bengoshi.png)

第2 開発の動機

1 弁護士業務について

- (1) 多くの弁護士の主な仕事は民事裁判
- (2) 民事裁判では「異議あり！」は使わない
- (3) ほとんどが「提出した書面のとおり主張します」
- (4) MS Word や一太郎などを使って起案している
- (5) その書面がこんな感じ

準備書面

1 本件の争点

本件の争点は AAA、BBB 及び CCC である。

2 争点 AAA について

(1) 本件では以下の証拠が存在する。

ア XXX

イ YYY

(2) よって、AAA については aaa である。

3 争点 BBB について

...

5 結論

相手方の主張は間違っており、こちらの主張が正しいものである。

2 書面の特徴

- (1) めちゃくちゃ地味
- (2) 見た目ではなく、論理構造で記述する
- (3) 文字のみ（図やグラフは原則として使わない）
- (4) 文字は普通の明朝体だけ
- (5) 文字装飾（下線、太字、斜体等）も使わない
- (6) 項目ごとにナンバリングと字下げ
 - 1、 2、 3… / (1)、(2)、(3)… / ア、イ、ウ…

3 ワープロに求められる機能

(1) 豪華な機能は必要ない

→ MS Word や一太郎などでなくとも大丈夫

(2) 論理構造を記述できてほしい

→ HTML、LaTeX、Markdown…で十分

(3) ナンバリングや字下げは勝手にやってほしい

(4) そういうワープロソフトはないの？

→ ネットを探したけれど、見当たらない…

じゃあ、作ろう！

第3 アプリの概要

1 アプリの方針

- (1) 書くのが簡単なので、Markdown を採用
- (2) 編集機能はエディタに任せる
- (3) 印刷形に整える機能は必須
- (4) MS Word との互換性があると便利

Markdown 形式と MS Word 形式を相互に変換

2 プログラミング言語

- (1) MS Word 形式は標準規格で、規格が公開されている
→ 複雑で、自分で規格に従って作るのは難しい
- (2) 作ってくれるライブラリ「Python-docx」がある
→ それを使おう！

プログラミング言語は Python

3 MS Word 形式から Markdown 形式に変換するアプリ

- (1) Markdown 形式のファイルを解析して論理構造を把握
- (2) 「Python-docx」で MS Word 形式のファイルを作成
- (3) CUI (コマンドライン) で使用方法

```
> makdo-md2docx.py 原稿.md 仕上り.docx
```

(4) GUI (マウス) で使用方法

- ・ Windows の場合

原稿ファイルを「makdo-md2docx.bat」にドラッグ&ドロップ

- ・ MacOS の場合

原稿ファイルを「makdo-md2docx.app」にドラッグ&ドロップ

4 Markdown 形式から MS Word 形式に変換するアプリ

- (1) MS Word 形式のファイルを解析して論理構造を把握
- (2) 独自解析で、「Python-docx」は使っていない
- (3) CUI（コマンドライン）で使用方法

```
> makdo-docx2md.py 仕上り.docx 原稿.md
```

(4) GUI（マウス）で使用方法

- ・ Windows の場合

Word 形式ファイルを「makdo-docx2md.bat」にドラッグ&ドロップ

- ・ MacOS の場合

Word 形式ファイルを「makdo-docx2md.app」にドラッグ&ドロップ

第4 マニュアル (Markdown → MS Word)

1 基本

単なる改行は無視されます

(1) Markdown の原稿

今日は雨です。
明日は晴れです。

(2) MS Word の仕上り

今日は雨です。明日は晴れです。

2 基本その2

一行空けると、段落が変わります。

(1) Markdown の原稿

今日は雨です。

明日は晴れです。

(2) MS Word の仕上り

今日は雨です。

明日は晴れです。

3 基本その3

行頭の空白は無視されます

(1) Markdown の原稿

今日は雨です。
明日は晴れです。

(2) MS Word の仕上り

今日は雨です。明日は晴れです。

4 基本その4

強制改行は行末にスペースを2つ書きます

(1) Markdown の原稿

今日は雨です。 (← スペース2つ)
明日は晴れです。

(2) MS Word の仕上り

今日は雨です。明日は晴れです。

5 基本その4

強制改行は”
”でもできます

(1) Markdown の原稿

今日は雨です。
明日は晴れです。

(2) MS Word の仕上り

今日は雨です。
明日は晴れです。

6 基本その5（独自仕様）

強制改ページは”<pgbr>”でできます

(1) Markdown の原稿

今日は雨です。

<pgbr>

明日は晴れです。

(2) MS Word の仕上り

今日は雨です。

（↑ ↓ ここでページが変わっています ↑ ↓）

明日は晴れです。

7 書面のタイトル

”#”と半角スペースの後に書きます

文字が大きくなり、中央寄せになります

(1) Markdown の原稿

タイトル

(2) MS Word の仕上り

タイトル

8 編、章、節…のタイトル（独自仕様）

複数の”\$”と半角スペースの後にタイトルを書きます

”\$”の数でレベル（編、章、節…）が決まります

(1) Markdown の原稿

\$ 編タイトル

\$ \$ 章タイトル

\$ \$ \$ 節タイトル

(2) MS Word の仕上り

第 1 編 編タイトル

第 1 章 章タイトル

第 1 節 節タイトル

9 編、章、節…のタイトルその2（独自仕様）

”\$”は5つまで対応しています

(1) Markdown の原稿

\$\$\$\$ 款タイトル \$\$\$\$\$ 目タイトル

(2) MS Word の仕上り

第1款 款タイトル 第1目 目タイトル

10 編、章、節…のタイトルその3（枝番）（独自仕様）

複数の”\$”をハイフン（マイナス）でつなぎます

枝の数字は2から始まります

(1) Markdown の原稿

\$ 枝無タイトル

\$-\$ 枝1タイトル

\$-\$-\$ 枝2タイトル

(2) MS Word の仕上り

第1編 枝無タイトル

第1編の2 枝1タイトル

第1編の2の2 枝2タイトル

11 ナンバリングと字下げ

複数の”#”と半角スペースの後に書きます

”#”の数で項目のレベルが決まります

(1) Markdown の原稿

```
## 項目レベル 1
```

```
### 項目レベル 2
```

```
#### 項目レベル 3
```

(2) MS Word の仕上り

```
第 1 項目レベル 1
```

```
1 項目レベル 2
```

```
(1) 項目レベル 3
```

12 ナンバリングと字下げその2（一部独自仕様）

”#”は8つまで対応しています

(1) Markdown の原稿

```
##### 項目レベル4  
##### 項目レベル5  
##### 項目レベル6  
##### 項目レベル7
```

(2) MS Word の仕上り

```
ア 項目レベル4  
  (ア) 項目レベル5  
    a 項目レベル6  
      (a) 項目レベル7
```


13 ナンバリングと字下げその3（枝番）（独自仕様）

複数の”#”をハイフンでつなぎます

枝の数字は2から始まります

(1) Markdown の原稿

```
## 項目レベル 1  
##-# 項目レベル 2  
##-#-# 項目レベル 3
```

(2) MS Word の仕上り

```
第 1 項目レベル 1  
第 1 の 2 項目レベル 2  
第 1 の 2 の 2 項目レベル 3
```

14 編、章、節…の数字の変更（独自仕様）

複数の”\$”、”=”、数字をつなぎます

(1) Markdown の原稿

\$ タイトル A

\$=3

\$ タイトル B

(2) MS Word の仕上り

第 1 編 タイトル A

第 3 編 タイトル B

15 ナンバリングの数字の変更（独自仕様）

複数の”#”、”=”、数字をつなぎます

(1) Markdown の原稿

```
## タイトル A
```

```
##=3
```

```
## タイトル B
```

(2) MS Word の仕上り

第 1 タイトル A

第 3 タイトル B

16 字下げ幅の変更（独自仕様）

複数の”#”だけを書きます

”#”の数で字下げ幅が決まります

(1) Markdown の原稿

字下げ変更前

##

字下げ変更後

(2) MS Word の仕上り

字下げ変更前

字下げ変更後

17 上の段落との間の幅の変更（独自仕様）

”v=”の後に数字を書きます（”v”は小文字）

(1) Markdown の原稿

上の段落

v=1

下の段落

(2) MS Word の仕上り

上の段落

下の段落

18 下の段落との間の幅の変更（独自仕様）

”V=”の後に数字を書きます（”V”は大文字）

(1) Markdown の原稿

V=1

上の段落

下の段落

(2) MS Word の仕上り

上の段落

下の段落

19 段落の一行目の字下げ幅の変更（独自仕様）

”<<=”の後に数字を書きます（幅を広げる方向が正です）

(1) Markdown の原稿

普通の段落です。

<<=-4

変更した段落です。変更した段落です。変更した段落です。

(2) MS Word の仕上り

普通の段落です。

変更した段落です。変更した段落です。変更した段落
です。

20 段落の字下げ幅の変更（独自仕様）

”<=”の後に数字を書きます（幅を広げる方向が正です）

(1) Markdown の原稿

普通の段落です。

<=-4

変更した段落です。変更した段落です。変更した段落です。

(2) MS Word の仕上り

普通の段落です。

変更した段落です。変更した段落です。変更した段落
です。

21 段落の左側の字下げ幅の変更（独自仕様）

”>=”の後に数字を書きます（幅を広げる方向が正です）

(1) Markdown の原稿

普通の段落です。

>=-4

変更した段落です。変更した段落です。変更した段落です。

(2) MS Word の仕上り

普通の段落です。

（ここが空いています↓）

変更した段落です。変更した段落です。変更した段落
です。

22 段落を左寄せにする（独自仕様）

行頭に”:”とスペースを書きます

(1) Markdown の原稿

: ここは左寄せです。

(2) MS Word の仕上り

ここは左寄せです。

23 段落を中央寄せにする（独自仕様）

行頭に”:”とスペース、行末にスペースと”:”を書きます

(1) Markdown の原稿

: ここは中央寄せです。 :

(2) MS Word の仕上り

ここは中央寄せです。

24 段落を右寄せにする（独自仕様）

行末にスペースと”:”を書きます

(1) Markdown の原稿

ここは右寄せです。 :

(2) MS Word の仕上り

ここは右寄せです。

25 表を入れる

セルを”|”で区切ります

(1) Markdown の原稿

名前 電話番号
広島太郎 082-123-4567

(2) MS Word の仕上り（表をそのまま表示しています）

名前	電話番号
広島太郎	082-123-4567

26 表の設定

”:---”、”:--:”、”---:”等で、幅や寄せを指定できます
その行より上はタイトル行になり、中央寄せになります

(1) Markdown の原稿

名前 電話番号
:-----: -----:
広島太郎 082-123-4567

(2) MS Word の仕上り（表をそのまま表示）

名前	電話番号
広島太郎	082-123-4567

27 一部セルの寄せの設定（独自仕様）

”:”等で、寄せを指定できます

(1) Markdown の原稿

名前 電話番号
:-----: -----:
広島太郎 082-123-4567
山口花子 : 082-234-5678

(2) MS Word の仕上り（表をそのまま表示しています）

名前	電話番号
広島太郎	082-123-4567
山口花子	082-234-5678

28 表中の改行（独自仕様）

セルの中に”
”を入れることで改行できます
行頭の空白は無視されます

(1) Markdown の原稿

名前 電話番号
広島太郎 082-123-4567 090-1234-5678

(2) MS Word の仕上り（表をそのまま表示）

名前	電話番号
広島太郎	082-123-4567 090-1234-5678

29 表の原稿中の改行（独自仕様）

長いセルの場合、行末に”\”を入れることで改行できます
行頭の空白は無視されます

(1) Markdown の原稿

名前 電話番号
広島太郎 082\ -123\ -4567

(2) MS Word の仕上り（表をそのまま表示）

名前	電話番号
広島太郎	082-123-4567

30 表の縦線を変える（独自仕様）

セルの幅や寄せの指定の最後に”_”や”=”を入れます
”_”は線なしに、”=”は二重線になります。

(1) Markdown の原稿

名前 固定電話 携帯電話
:----- = :-----_ :-----
広島太郎 082-123-4567 090-1234-5678

(2) MS Word の仕上り（表をそのまま表示）

名前	固定電話	携帯電話
広島太郎	082-123-4567	090-1234-5678

31 表の横線を変える（独自仕様）

”_”（線なし）や”=”（二重線）だけの行を入れます

(1) Markdown の原稿

```
|名前|電話番号|  
=  
|広島太郎|082-123-4567|  
_  
|山口花子 :|: 082-234-5678|
```

(2) MS Word の仕上り（表をそのまま表示しています）

名前	電話番号
広島太郎	082-123-4567
山口花子	082-234-5678

32 画像を入れる

”![コメント:横 x 縦](ファイル名)”と書きます

横と縦はセンチメートル単位です

横や縦を”-1”にすると、ページにフィットします。

(1) Markdown の原稿

```
![ロゴ:4x3](md8docx.png)
```

(2) MS Word の仕上り

```
![ロゴ](md8docx.png)
```

33 文中に画像を入れる

文中に”![コメント](ファイル名)”と書きます

(1) Markdown の原稿

ロゴは![ロゴ](md8docx.png)です。

(2) MS Word の仕上り

ロゴは![ロゴ](md8docx.png)です。

34 文字を斜体にする

文字を”*”で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通です。*ここは斜体です。*ここは普通です。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通です。ここは斜体です。ここは普通です。

35 文字を太字にする

文字を”**”で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通です。**ここは太字です。**ここは普通です。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通です。ここは太字です。ここは普通です。

36 文字に打消線を引く

文字を”~~”で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通です。~~ここは打消線です。~~ここは普通です。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通です。~~ここは打消線です。~~ここは普通です。

37 文字をととても小さくする（独自仕様）

文字を”---”（マイナス3つ）で囲みます

フリガナ等に使えます

(1) Markdown の原稿

ここは普通。---ここはとても小さい。---ここは普通。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通。ここはとても小さい。ここは普通。

38 文字を小さくする（独自仕様）

文字を"--"（マイナス2つ）で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通。--ここは小さい。--ここは普通。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通。ここは小さい。ここは普通。

39 文字を大きくする（独自仕様）

文字を”++”（プラス2つ）で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通。++ここは大きい。++ここは普通。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通。ここは大きい。ここは普通。

40 文字をととても大きくする（独自仕様）

文字を”+++”（プラス3つ）で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通。+++ここはととても大きい。+++ここは普通。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通。ここはととても大きい。ここは普通。

41 文字の幅をととても狭める（独自仕様）

文字を”>>>”と”<<<”で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通。>>>ここはとても狭い。<<<ここは普通。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通。ここはとても狭い。ここは普通。

42 文字の幅を狭める（独自仕様）

文字を”>>”と”<<”で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通。>>ここは狭い。<<ここは普通。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通。ここは狭い。ここは普通。

43 文字の幅を広げる（独自仕様）

文字を”<<”と”>>”で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通。<<ここは広い。>>ここは普通。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通。ここは広い。ここは普通。

44 文字の幅をととても広げる（独自仕様）

文字を”<<<”と”>>>”で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通。<<<ここはとても広い。>>>ここは普通。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通。ここはとても広い。ここは普通。

45 文字に下線を引く（独自仕様）

文字を”__”（アンダーバー 2 つ）で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通です。__ここは下線です。__ここは普通です。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通です。ここは下線です。ここは普通です。

46 文字に特殊な下線を引く（独自仕様）

文字を”_=_”（二重線）や”_._”（点線）で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通です。_=_ここは二重下線です。_=_ここは普通です。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通です。ここは二重下線です。ここは普通です。

47 文字をゴシック体にする

文字を”`”（バッククォート）で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通です。`ここはゴシック体です。`ここは普通です。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通です。ここはゴシック体です。ここは普通です。

48 プログラムコードを入れる

段落を”```”（バッククォート 3 つ）で囲みます
行頭の空白等がそのまま表示されます。

(1) Markdown の原稿

```
```  

if a == b:
 print("YES")
```
```

(2) MS Word の仕上り

```
if a == b:  
    print("YES")
```

49 文字を白くして消す（独自仕様）

文字を”^^”（キャレット 2 つ）で囲みます

文字列の幅をそろえるときに使います。

(1) Markdown の原稿

ここは普通です。^^ここは文字が消えます。^^ここは普通です。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通です。

ここは普通です。

50 文字の色を変える（独自仕様）

文字を”`^red^`”や”`^blue^`”等で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通です。`^red^`ここは文字が赤です。`^red^`ここは普通です。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通です。ここは文字が赤です。ここは普通です。

51 文字の背景色を変える（独自仕様）

文字を”_red_”や”_blue_”等で囲みます

(1) Markdown の原稿

ここは普通です。_yellow_ここは背景が黄色です。_yellow_ここは普通です。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通です。ここは背景が黄色です。ここは普通です。

52 文字コードを持たない特殊な異字体（独自仕様）

字の後に数字（0～239）と”;”を書きます

フォント（IPAmj 明朝等）のインストールが必要です

字体は下記の Web ページで探してください

<https://moji.or.jp/mojikibansearch/basic>

(1) Markdown の原稿

花、花 3;、花 4;、花 6;、辻、辻 2;、送、送 3;、葛、葛 2;

(2) MS Word の仕上り

花、花、花、花、辻、辻、送、送、葛、葛

53 コメントを入れる

文字を”<!--”と”-->”で囲みます

文書作成中のコメントを入れるときに使います

私は金額の計算式などをコメントに残しています

(1) Markdown の原稿

ここは普通です。<!--ここは消えます。-->ここは普通です。

(2) MS Word の仕上り

ここは普通です。ここは普通です。

54 ルビ（ふりがな）を振る

”<文字列/ふりがな>”と書きます。

(1) Markdown の原稿

<山口/やまぐち>、<広島/ひろしま>、<岡山/おかやま>

(2) MS Word の仕上り

やまぐち ひろしま おかやま
山口、広島、岡山

55 空白を入れる

”<N>”（N は数字）で漢字 N 文字分の空白が入ります。

(1) Markdown の原稿

```
広<1.5>島<1.5>県
```

(2) MS Word の仕上り

```
広 島 県
```

第5 最後に

たくさんの方に使っていただくと幸いです。

令和5年8月10日
秦 誠一郎